

# 平成 25 年度「医療機関における安全性情報の伝達・活用状況に関する調査」の概要

## 1. 調査趣旨

独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)安全第一部では、医療機関・薬局における適切な医薬品安全性情報の入手・伝達・活用方策等を検討するため、実態・課題等を把握するための調査を平成 22 年度より実施している。

平成 25 年度は、これまでの調査から明らかとなった課題への対応として、医薬品安全性情報の入手・伝達・活用に関する優良事例を調査し、要点をとりまとめることにより、他の医療機関において事例を応用する際の参考情報を提供することを目的とした。

## 2. 調査対象及び方法

これまでの調査結果、検討会<sup>※</sup>及び関連職能団体等の意見を踏まえて選定した、医薬品安全性情報の入手・伝達・活用に関して積極的な取り組みを実施している 14 病院(一部ではその近隣診療所・薬局を含む)を調査対象とした。

調査対象施設に訪問し、医薬品安全管理責任者又は医薬品情報の担当者に対し、医薬品安全性情報の管理に関する取り組み内容の聞き取りを行った。

※PMDA 内に設置した「医療機関における医薬品等の情報の伝達・活用状況調査に関する検討会」

## 3. 調査結果

聞き取り内容に基づき、各施設での安全性情報の入手・伝達・活用方策の事例を報告書として紹介するとともに、医薬品安全性情報の適切な管理を支援するための参考情報について、検討会等の意見を踏まえ、病院の薬剤部門の役割を中心にとりまとめた。

その結果、

- ・ 情報入手体制を明確化し、情報媒体の特性に応じた情報源を確保すること
  - ・ 発出された安全性情報に関係する医師、影響のある患者等を特定すること
  - ・ 安全性情報の性質に応じて、医師・看護師等への伝達手段を使い分けること
  - ・ 情報伝達後に、臨床現場で活用されているか確認し、必要に応じ再度注意喚起を図ること
- 等が重要と考え、これらを要点とした啓発資材を作成した。

調査結果報告書の全体版は、啓発資材とともに、以下のURLで、PMDAのホームページ上に掲載しているため、ご参照いただきたい。

<医療機関における安全性情報の伝達・活用状況に関する調査>

[http://www.info.pmda.go.jp/kyoten\\_iryaku/dentatsu\\_katsuyou.html](http://www.info.pmda.go.jp/kyoten_iryaku/dentatsu_katsuyou.html)